



第51回ねむる港まつり「ジュニアコンサート」 園児や小学生による鼓笛やYOSAKOIソーランが披露され、子どもたちの曇り空を割るような元気な姿に、大勢の市民から拍手と歓声がわき起こりました。(7月18日：鳴海公園)



第1回落石シーサイドウェイ浜松バスウォーク 落石地区マリンビジョン協議会が整備していた「浜松バス」が6月27日にオープン。好天に恵まれ、たくさんの愛好者が高山植物や絶壁からの景色を堪能しました。(6月30日：浜松バス)



第47回北海道障害者スポーツ大会 全道各地から根室管内に約350人が集結した本大会。根室市では車いすバスケットボールが行われ、息をのむような熱戦に会場は大きな声援に包まれました。(7月19日：青少年センター)



護衛艦「じんつう」「ちくま」一般公開 海上自衛隊護衛艦の一般公開に家族連れなど200人余りが訪れ、艦内を案内する乗員の説明に聞き入っていました。一般公開の後、体験航海も行われ勇壮な航海を楽しみました。(7月18日：花咲港)

春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター

NC通信

〒086-0074
根室市東梅103番地
☎25-3047

初夏を彩る花「ハマナス」

春国岱にもようやく夏がやってきました。短い夏を精いっぱいおう歌するように、センダイハギやゼンテイカ、ヒオウギアヤメなど夏の花が次々と開花し、春国岱を鮮やかに彩ります。中でも、7月下旬に見ごろを迎えるハマナスの花は、春国岱の海岸沿いの砂丘を3キロにもわたって濃いピンク色に染めます。

ハマナスの群落を観察できるハマナスコースまでは、春国岱の入り口から約25分の距離で、道も木道から土の道に変わり、背の高いセンダイハギが風に揺られる様子が目の前に広がります。いよいよハマナスの群落が近づいてくると、バラに似たとても甘い香りが漂っ

てきます。

春国岱の砂丘は、ハマナスのピンク色と葉の緑色でとても鮮やかです。ハマナスは漢字で「浜茄子」と書きますが、実際はナスではなくバラの仲間です。きれいな花にはトゲがあるというように、ハマナスの枝にも細かいトゲがたくさんあります。砂丘に長く連なるハマナスの群落は、まさに自然の要塞。ハマナスコースでは、あちらこちらでハマナスの枝の上に小鳥たちが顔を出します。喉の赤いノゴマやオレンジ色の前掛けをしているノビタキは、ハマナスに守られながら子育てをしているのです。私たちの目を楽しませてくれるハマナスは、小鳥たちにとっても魅力的な場所なのです。また、秋には真っ赤に熟した美しい実を観察することもできます。

この時期は蚊も元気なので、虫よけ対策をしっかりとってから足を運んでみてください。花に、実に、その香りに、しばらくはハマナスが楽しめる季節です。

(レンジャー 大熊 千晶)

